

産科医療補償制度 第 89 回原因分析委員会 議事要旨

日時：2018年8月30日（木） 17時00分～19時10分

場所：公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者（委員）：石川浩史、茨聡、上塘正人、北田淳子、楠田聡、佐藤昌司、
下屋浩一郎、鈴木俊治、鈴木利廣、高田昌代、豊田郁子、
前田津紀夫、馬目裕子、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋（敬称略）

議事概要：

1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について

○2018年7月末時点で、原因分析報告書の累計承認件数が2,030件となったこと等が報告された。

○「別紙（要望書）」対応^(※1)について、2018年7月末までに73の分娩機関に対し実施したこと、改善要望を行った項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が一番多かったこと等が報告された。

2) 原因分析報告書全文版（マスキング版）の開示対応状況について

○2015年11月の開示方法の変更以降、2018年7月末までに、6件の原因分析報告書全文版（マスキング版）の利用申請があり、延べ674事例の報告書について開示が行われたことが報告された。

3) 原因分析報告書要約版の公表停止について

○個人情報保護法の改正を受けて、個人情報の取扱いが明確化され、課題が生じたことから、原因分析報告書要約版の公表を2018年8月1日より一旦停止していることが報告された。

4) 部会審議における確認事項等

○原因分析報告書上の原因の記載や医学的評価のあり方等に関して、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての方針を整理した方がよいと提起された事項について考え方を整理した。

5) 原因分析報告書の「臨床経過に関する医学的評価」について

○原因分析報告書作成のための審議等の効率化および読み手にとっての分かりやすさの向上の観点から、原因分析報告書の「臨床経過に関する医学的評価」の見直しについて検討していくにあたり、委員の意見を聴取した。

6) 原因分析に関するアンケートの実施について

○今後の原因分析の改善に活かすため、原因分析報告書を送付した保護者および分娩機関を対象に、2018年9月にアンケートを実施することが報告された。

(※1) 同一分娩機関において複数事案目の事例が発生し、原因分析でも、これまでと同様の指摘が行われ、改善がみられない、または、同じような事例の発生が繰り返されるおそれがあると原因分析委員会が判断した場合、該当の分娩機関に対し「別紙（要望書）」を送付し、改善取組みとその報告を求めている。

以上